



## 知事メッセージ

県民の皆様へ

### ●北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイル発射への対応について

北朝鮮は、近日中に「人工衛星」と称するミサイルを発射すると発表しております。県民の皆様には以下のことをお願いします。

- 1 北朝鮮が発射を予定している令和5年5月31日（月）午前0時から6月11日（日）午前0時までの間は、テレビやラジオ等の情報にも注意してください。  
水
- 2 防災無線やテレビ・ラジオ等で県内に落下が予測されると放送された場合には、安全のため屋内へ避難してください。
- 3 万万が一、近くに何かが落下した場合には、不用意に近づかず、できるだけ早く退避するとともに、警察（110番）、消防（119番）へ連絡をお願いします。

県としましては、北朝鮮がミサイルを発射した際には、Jアラートやエムネットからの情報を、県民、市町村及び報道機関等に対し、速やかに提供する予定であります。

また万万が一、本県内に落下する場合に備え、警察、消防、自衛隊及び海上保安庁と連携し、万全な体制で対処することとしております。

県民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年5月29日

沖縄県危機管理対策本部長  
沖縄県知事 玉城 デニー



# 弾道ミサイル 落下時の行動

国民保護  
ポータルサイト



ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、国は「Jアラート」を活用して防災行政無線で特別なサイレン音とメッセージを流すほか、緊急速報メール等による情報提供を行います。

Jアラート



**【例】直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。**

もしメッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に  
いる場合

建物が  
ない場合

屋内に  
いる場合

## 近くの建物の中や地下に 避難する。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになければ、それ以外の建物でも構いません。

## 物陰に身を隠すか、 地面に伏せて頭部を守る。

## 窓から離れるか、 窓のない部屋に移動する。



- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

政府の最新情報は  
こちらもチェック



首相官邸  
ホームページ  
[www.kantei.go.jp/](http://www.kantei.go.jp/)



Twitterアカウント  
首相官邸災害・危機管理情報  
@Kantei\_Saigai

# 弾道ミサイル攻撃を受けたとき 明暗を分けるのは避難行動

弾道ミサイルが着弾した場合、激しい爆風や破片などにより、身体へ大きな被害を受ける可能性があります。爆風や破片などから身を守るため、状況に応じた避難行動をとることが大切です！



※イメージ

Q1

Jアラートが流れた後に避難を始めても手遅れでしょう？

A. 避難行動にかけられる時間は限られたものですが、それでも、近くの建物の中や地下へ避難する、物陰に身を隠すなど、わずかな時間でもできることはあります。

Q2

近所には、丈夫な建物も地下もなく、避難できるところがありません

A. 横（水平）方向に広がる爆風や飛散する破片等に対して身体の衝突面を極力減らすことが重要なので、木造住宅へ避難するだけでも、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性が高まります。

Q3

地面に伏せる、頭部を守る……。それで、ミサイル攻撃から身を守れるとは思えません

A. 横（水平）方向に広がる爆風や飛散する破片等に対して身体の衝突面を極力減らすことが重要なので、避難行動をとらない場合と比べれば被害を軽減できる可能性を高めることができます。

Q4

避難したところで、弾道ミサイルが直撃したら何をやっても無意味では？

A. 弾道ミサイルによる被害の程度は、その威力などによりさまざまであり一概には言えませんが、地下への避難などの適切な避難行動をとることで、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性を高めることができます。

国民保護

検索

2018.4 作成

詳しくは、内閣官房国民保護ポータルサイトへ

内閣官房



ミサイルが飛んでくるときには  
「Jアラート」が知らせてくれるよ!

- そと 外にあるスピーカーなどから、サイレンの音やメッセージが流れる
- おと 携帯電話やスマートフォンにメールが届く

## もしもJアラートが流れたら…



外にいるときには  
(学校に行く途中や公園で遊んでいるときなど)



すぐに建物の中や地下へ避難できないときには、  
物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭を守ろう



建物の中にいるときには  
(おうちの中や教室など)

